

市民図書館の利用に関するアンケート実施要項

1. 目 的

石狩市民の利用実態や、市民ニーズを把握し、より多くの市民に利用されるような図書館運営について、今後の方向性を探る。

2. アンケートの背景、ねらい

石狩市民図書館は平成 12 年の開館以来、生涯学習の基盤として、また、多くの人が集い交流する場所として、多くの人に利用されている。

一方、平成17年の厚田村、浜益村との合併、高齢化の進展など、本市をとりまく環境は確実に変化しつつある。また統計からは、石狩市民の登録割合が下がっているという実態が確認されている。

今後も引き続き多くの市民に利用されるよう、時代の変化や市民のニーズに対応して適切に事業展開を図るため、特に次の点に着目し調査する。

- (1) 非利用者が利用しない理由の把握
- (2) 利用者カードの使われ方の実態把握（本人は利用登録せず、家族のカードで借りているなど）
- (3) 利用者の来館目的の把握

3. 結果の活用

- (1) 運営改善に向けた基礎資料とする
- (2) 次期石狩市教育プラン及び石狩市民図書館ビジョン（いずれも平成 32～）の策定作業における参考資料とする

4. 対象 石狩市に住民登録のある、満 20 歳以上の市民 2,000 人

5. 手 法

抽出方法 対象者を性別、年代は均等に、居住地区は人口構成比に比例した割合で無作為抽出（抽出人数 2,000 人。同一世帯からの抽出は 1 人）

実施方法 郵送による調査票の配布と回収

6. 実施期間 平成 29 年 10 月 13 日（金）～26 日（木）の 2 週間

7. 公 開 ホームページで公開

8. 調査項目及びアンケート調査票

(1) 調査項目

－全ての方に対し－

問1 図書館への来館の有無（過去3年以内）

－来館している方に対し－

問2 主に行く館（本館・分館・あいかぜとしょかん・その他（ぽぽらーと））

問3 図書館に行く目的

問4 図書館に行く内容

問5 図書館で気に入っていること・もの・サービス

問6 利用者カードの利用実態（家族カード化の実態把握）

－来館していない方に対し－

問7 図書館に行かない理由

a. 以前は行っていたが今は行かない理由

b. これまで行ったことがない理由

問8 図書館は役に立っていると思うか

－全ての方に対し－

問9 図書館で充実してほしい資料（本、雑誌、新聞等）の種類及び本の分野

問10 市民の読書習慣及び子どもの読書習慣の実態

(2) アンケート調査票 別紙